

保護者各位

令和 5 年 1 月 25 日
認定こども園
國學院大學栃木二杉幼稚園

2 月園だより



寒さも一層厳しくなり朝の園庭には、霜柱が見られます。子ども達は、霜柱に興味津々で、見て、触って「冷たい、なくなっちゃった」と肌で感じ、冬の季節を体感しています。季節ならではの遊びを取り入れ、身体をたくさん動かし、心身共に丈夫な身体を作っていきたいと思います。そして、コロナやインフルエンザなどの感染症に負けず元気に過ごしていきたいです。今年度も残りあと 2 ヶ月となり、進学・進級を控えたこの時期、『ひとつ、お兄さんお姉さんになる』という意識を持って子ども達が、笑顔でたくさんの思い出が作れるように、充実した毎日を過ごしていきたいと思います。



お知らせ

【送迎コース変更について】

令和 5 年・4 月からの、バス乗車、徒歩コースいずれか、変更ご希望の方はお知らせください。

2 月 3 日(金)まで

【節分・豆まきについて】

二杉神社で豆まきをします。

日程 2 月 3 日(金) 10:00~予定
(見学は、自由です。)

【インターホンを鳴らして下さい】

1 月の園だよりでお知らせしましたが、インターホンが新しくなりました。防犯上、必ず、インターホンを鳴らしてお子さんのクラス・お名前を伝えて頂き、職員が応答しましたら、園内にお入りになって下さい。

正門、保育部用門の 2 カ所に設置してありますので、宜しくお願い致します。



【2月の納入金について】

2月の納入金を**2月10日(金)まで**に銀行にご用意下さい。

【2月について、知っているかな？】

・2月は、節分・立春と暦の上では春ですが、「春は名のみの風の寒さや」の早春賦の歌詞のとおりまだまだ寒さの真っ只中です。でも、陽射しの中には、春の明るさが感じられて嬉しいものです。如月とは、萌揺月（きさゆらぎづき）、草木が萌え出づる月という意味です。

(2月3日節分・太巻き恵方巻きについて)

・恵方(えほう)というのはその年に美しき歳徳神（“としとくじん“と言って、年神様や正月様という神様）がいる方角です。恵方(えほう)を向いて巻き寿司（関西では太巻きと言います）を切らずに無言で食べる風習です。巻き寿司を使うのは「福を巻き込む」からで、「縁を切らないために包丁を入れない」ということで、まるごと食べることになったそうです。今年は、『**南南東のやや南**』を**向いて食べる**と縁起の良いことがあるでしょう。

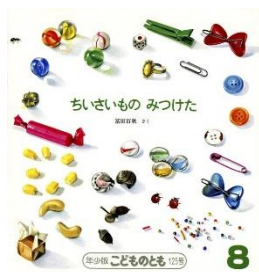
《2月の予定》



日	曜	2月の行事	学年	学年の主な活動や遊び
1	水	ニ杉クラブ	年 長	・卒園に向けて気持ちを引き締めていこう！ ・紙粘土で自分のペン立てを作ってみよう！ 小学生になって使うことがたのしみですね。 ・お別れ会で、小さいお友達にペンダントをプレゼントしよう！喜んでくれるかな？！ ・寒さに負けず、マラソンを頑張ろう！自分のペースで走ってみよう！！最後まで諦めずに走り抜こう。 ・マラソン大会頑張るぞー！！
2	木			
3	金	節分(豆まき)		
4	土			
5	日			
6	月			
7	火			
8	水	2・3月誕生会		
9	木			
10	金	災害避難訓練	年 中	・～節分～ 自分の中にいる悪い鬼を追い出そう！豆まきの後は、福の神様を呼び入れよう！ ・長縄や一人跳びに挑戦していこう！ジャンプするタイミングがつかめるように頑張ろう！！体育遊びでは、どんなことをするのか？！ ・年長さんとの”お別れ会”。年長さんと遊んで楽しかったことを思い出しながら、お祝いの言葉を送ろうね。 ・鍵盤ハーモニカは、どんな音が出るかな？！色々な音を出して楽しもう。
11	土	建国記念の日		
12	日			
13	月			
14	火	マラソン大会(年長)		
15	水			
16	木	お別れ会		
17	金		年 少	・二杉神社で豆まき！自分の中にいる悪い鬼を追い出そう！ ・寒さに負けず戸外でいっぱい遊ぼう！！ あぶくたった、長縄遊び、楽しいね！！ ・もうすぐひなまつり、可愛い“おだいりさま”と“おひなさま”を作って飾ろうね♡
18	土			
19	日			
20	月			
21	火			
22	水	卒園記念写真撮影		
23	木	天皇誕生日		
24	金	自宅弁当		
25	土		・たんぽぽ ・つくし	・「鬼は外！」お友達や先生と豆まきごっこを楽しもうね！ ・たんぽぽ①・②お互いの保育室を行き来して一緒に遊んだり、一緒に昼食を食べたりしてみましようね。 ・戸外では霜柱を見つけたり、縄を使って電車ごっこをしたりして遊ぼうね！
26	日			
27	月			
28	火			



今月の月刊絵本のご紹介



『ちいさいもの みつけた』

富田 百秋 作

小さいものを見つけた。キャラメルやコンペイトウ、豆や果物の種、アリやテントウムシ、シジミガイ、おはじき、ボタン、ビール瓶の栓など、身のまわりの小さいものを実物大で描きました。小さなものは、すてきな宝物。

『のんびりマジマジ』

乾 栄里子 文 / 西村 敏雄 絵

アルマジロのマジマジはのんびりやさん。散歩中、コロコロコロッと転がって、穴にはまって抜けられなくなります。でも、マジマジは「しょうがないない しょうがない」とのんびり。そのうちに背中がもぞもぞしてきて……。助けてくれたのはもぐらくん！ のんびりやのマジマジともぐらくんの、さりげなく温かい交流を描いたお話です。



『ひゃくえんだまどこへゆく？』

くら ささら 文 / たかはし ゆうじ 絵

男の子がジュースを買おうと、100 円玉を自動販売機に入れようとしたその瞬間……。100 円玉がおっこちた！ 100 円玉は、ころころころころ、坂を転がって、トラックに運ばれたり、空を飛んだり、海に落ちたり。しまいには南極にたどり着いたり……。いったいどこまで行ってしまうのでしょうか？ 小さな 100 円玉の壮大な冒険を描いた絵本です。



『とうげのオイノ』

森元 葉子 文 / 伊藤 彰剛 絵

ある朝、いちろうは、穴に落ちたオオカミの親子を見つけ、じいちゃんと一緒に助けてあげました。その後、ふたりは、そのオオカミと思いがけない再会を果たします。明治時代の東北地方を舞台に、いまは絶滅してしまったニホンオオカミと人間の、最後の交流を描いたお話。謎に包まれたニホンオオカミが気品たっぷりに描かれています。

